

interface

MIYUKI HOSPITAL MAGAZINE

インターフェイスとは「つなぐ部分」のこと。この広報誌を皆様とのつながりのきっかけにしていきたいと考えています

御幸病院広報誌
【インターフェイス】



2011.
Spring
Vol.14



●特集

提供できる最大限のホスピタリティと、
質の高い温かな看護を追及

- みゆきの里 創立29周年記念式典 開催
- ドクターズコラム
- 和楽ってこんなところ! ●今後の行事予定
- ニュースリリース ●担当医表



ごあいさつ

インターフェイス第14号をお届けいたします。

この度は 東北関東大震災の被災者の皆様に心よりお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復旧をお祈りするばかりです。

さて、今回は御幸病院の看護部をご紹介します。チーム医療の要であり、患者様の最も近い存在である看護師の役割はますます専門化し、ケアの質向上が求められています。当院では回復期リハビリ病棟、緩和ケア病棟、一般病棟、医療療養病棟、外来、訪問、とそれぞれの機能に応じて活発に学習・研鑽に努めています。外部研修への参加や院内勉強会の開催、また業務が多忙で研修等への全員参加が難しい看護部向けに、Eラーニングによる研修を導入いたしました。統合医療に関連して、「癒し」をテーマにした勉強会を継続して開催しています。さらに、看護部全体のレベルアップを図るため、前聖マリアンナ医科大学執行役員・統括看護部長の陣田泰子先生を、この4月より医療法人博光会の顧問としてお招きいたしました。御幸病院看護部の取組みの一部をご覧ください。



医療法人 博光会 理事長

富島 三貴

Miki Tomishima

みゆきの里グループ

- ◆ケアハウス ピオニーガーデン
- ◆ウェルネスクエアー 和楽
- ◆介護老人保健施設 ぼたん園
- ◆軽費老人ホーム 富貴苑
- ◆特別養護老人ホーム みゆき園
- ◆小規模多機能ハウス ほがらか
- ◆グループホーム ほがらか
- ◆レストラン ピオサルーテ

提供できる最大限のホスピタリティと、 質の高い温かな看護を追及

全スタッフが受講可能な 「S-QUE院内研修」で看護力向上

どこの病院や企業においても、スタッフの質の向上に欠かせないのが研修です。御幸病院の看護部でも、少人数ずつながらスタッフを外部研修に派遣し、現場にフィードバックさせる従来のスタイルを主流に行なってきました。しかし、それだと研修に行ったスタッフにはダイレクトに響くものの、病院全体の看護師への浸透率は振るいません。そこで全部で140名も在籍する看護師に、1人でも多く生きた情報を伝え、全員のレベルアップを目指したいと、今年から「S-QUE院内研修」をスタートさせました。

「S-QUE院内研修」とは、衛星放送を利用して全国



(後列左より) 上谷南1病棟主任、野中北2病棟師長、山下北3病棟師長、
井南3病棟師長、福原副看護部長

(前列左より) 長木健康増進室長、奥村看護部長・副院長

に同時中継される衛星研修と、スタッフ各自がパソコンで視聴できるオンデマンド研修の2種類の講義を受講することができるシステム。「衛星研修は集合研修として、会議室のプロジェクターで放送しています。一緒に見ることで、研修としての臨場感が生まれるのがポイント」と奥村看護部長。「家庭と両立させて働く看護師が多いので、オンデマンド研修だと自分の空いた時間を利用して、70～90分の講義を受講するのが便利です。動画で配信されるので、見ているとついつい内容に引き込まれます」とは健康増進室の長木室長。福原副看護部長も「見る時間も選べるし、気になるところを何度も繰り返して見れるので、使いやすく理解しやすいですね」とその魅力を語ります。

また、研修である以上、きちんとした成果は必須。「毎回内容の理解度をチェックする項目があり、各看護師のチェック内容を統括して把握できるんですよ。看護師個人の理解度に合わせて教育計画が組めるのも大きなメリット。豊富な年間プログラムの中から、クリニカルラダーにあわせた活用をしていきたい」と奥村看護部長は語ります。「期待をもって全員にお知らせできるプログラム。看護師一人ひとりが高い意識を持って活用して欲しい」の言葉に、今後の御幸病院の看護の質のアップに、大きな期待が広がります。

M i y u k i n o s a t o



癒しアSEMBリーで作成されたアロマフラワーティッシュと、エアーフレッシュナー
及びアロマポット。院内各所に置かれ、心地よい香りを提供している



癒しアSEMBリーでのアロマ勉強会の様子



S-QUEオンデマンド研修 ログイン画面

香りで心地よい空間を提供する 「癒しアセンブリー」

「御幸病院では看護部を、いつも患者様のそばにいて“癒し”を提供できる集団と位置づけ、アロマを活用した癒しの活動に積極的に取り組んでいます。毎月行なわれる定例会では、ミニ学習会や実技を取り入れ、私たちも楽しみながらアロマセラピーについて学んでいます」と語る福原副看護部長。アロマに関する知識を底上げするために、「みゆきの里アロマセラピスト認定制度」を5年前から実施。心地よい香りの提供はもちろん、トリートメントやマッサージを通して、患者様の心もケアができるようにと、「おもてなし」の心をこめて施術しています。

癒しアセンブリーでは、毎月メンバーが部屋の清掃や排泄交換後に使用するエアフレッシュナーを作成。各部署で使用することで、院内全体がフレッシュな空気に包まれます。実際、韓国から医療視察が見えたときにも「どうして病院なのに特有の臭いがないのか」と驚かれたそう。院内随所に置かれたアロマポットからも、心地よい香りが漂っています。

「患者様の不安な気持ちや、窮屈な入院生活を、少しでも癒して快適なものにしてあげたい。アロマを通じてリラックスできる空間を作って差し上げたい」との思いから始まった癒しアセンブリー。治療・治療はもちろん、心に響く最大限のホスピタリティを提供したい。患者様の立場に立った御幸病院の看護部の活動は、これからはますます充実していきそうです。

御幸病院看護部 からのご挨拶

御幸病院副院長・看護部長
奥村 庄子



御幸病院看護部では、「地域の人々、利用者のご家族の幸せを願い、保健・医療・福祉の総合力を発揮して、健康生活のベストパートナーとなることを目指します」の理念のもと、「初期医療からターミナルケアまで、的確・最適な医療サービスの提供と在宅医療・保健活動に努めます」の病院基本方針に則り、「患者様・地域の人々に信頼され安心して療養頂ける質の高い温かな看護を提供します。」との看護部理念をもって社会的ニーズに応えるべく、看護の質向上のための教育に力を入れて参りました。その中で、より多くの職員が研修に参加できる方法はないか、多数の職員が同時に参加でき、知識を吸収できる方法はないかを考えた結果、「S-QUE研修」を導入する事にしました。インターネット回線を通じたオンデマンド方式の研修で、会議室を利用してまとまった人数で研修を受ける他に、勤務の都合で参加できない職員や休職中の職員も、インターネット環境があれば自宅等で空き時間を利用して研修を受けることができます。

また、当院推進の統合医療では、看護部全体が患者様への「癒し」を提供する集合体としてとらえ、アロマセラピーやタッチケアに関する勉強会や活動をしています。アロマセラピーについては毎月の勉強会で実際に精油の調合を行っていますし、みゆきの里内部での資格として「みゆきの里アロマセラピー認定制度」があります。

今後も様々な取り組みにより医療とケアの質を高め、患者様とご家族、ご来院者の皆様に、より満足していただける看護を提供していきたいと思っております。御幸病院看護部を、今後ともよろしくお願いいたします。

統合医療 —みゆきの里の取り組み—



御幸病院顧問
老人保健施設ぼたん園施設長
日本東洋医学会指導医・名誉会員

江頭 洋祐

※受療ご希望の際は予め
電話で予約をお願いします。

090-4358-1225

便秘の統合医療

便秘に悩む人は多く、その対処法もさまざまである。軽いうちは薬局でコーラックなどを買って飲んだり、病院でアローゼンやカマグを処方してもらったり、人によってはサプリメントを色々試みることもある。

本来は、朝食後に脳直腸反射を利用して、タイミングよくスッポリと1回で済ませるのが理想的だが、忙しい現代生活の中では、それさえもゆとりがなくリズムを崩している人が多い。

便秘の治療の三つのタイプ別に行う。まず腸の動きが悪く便が停滞し塊になって出にくい弛緩型には、カマグやアローゼン、センナ剤が適用となる。漢方では、腸の働きを活発にする人参湯、大建中湯などが適用される。

肥満型にはやせる効果もある防風通聖散が有用である。

腸の出口に近い直腸に便がたまって出ない直腸型には、テレミンソフト坐薬やひどい時には浣腸をすることもある。漢方では大黃甘草湯が適用になる。高齢者の便秘には麻子仁丸や潤腸湯がとて有用性がある。

大腸過敏症や下剤を連用する人に多い痙攣型では、便はポロポロの兔糞状になりやすい。薬は、マグラックスやコロネルなどで調整する。漢方では芍薬の入った桂枝加芍薬湯などが適用になる。

食品も大切で、バナナやさつまいも、プルーン、アロエ、リンゴ、豆類、玄米、海藻など、サプリメントでは、オリゴ糖のシロップ、ヨーグルト、青汁、クロレラなど、その他、オリーブ油、ハーブ茶、ナリネ菌などの中に自分に合うものを見つけるとよい。また、便秘のツボとしては臍下3寸の関元やその上にある気海というツボがあるので試みる。大事なことは毎日体を動かし、何か運動をすること、野菜や果物などの繊維性食品を食べること、それに水分補給も忘れないことである。

みゆきの里 創立29周年記念式典 開催

3月1日、みゆきの里の29周年創立記念式典が、ぼたん園多目的ホールにて開催されました。当日は始業前の朝早くから、富島会長をはじめ職員一同がぼたん園に集合。富島会長の開会の挨拶の後、お忙しい中ご出席いただいた、中原県会議員をはじめとした来賓の皆様より、29周年の祝辞をいただきました。

続けて、長きに渡って勤務を続けてこられた永年勤続者の方々と、先日の研究発表大会優秀作の表彰が行われました。今回の永年勤続者は、勤続10年が14名、15年が12名、20年が5名、25年が1名の、計32名が受賞。受賞者を代表して、20年勤続の御幸病院・吉田院長が謝辞を述べました。

研究発表では、みゆき園施設部・平川介護福祉士発表の「ストップザ下剤～カギは水分にあった!!～」が最優秀賞に。昨年最優秀賞を受賞した御幸病院薬局の発表「漢方薬のコンプライアンス向上の為に味覚支援」(佐藤薬剤師)は、今年度は優秀賞となりました。また、今年度より新設されたフリースタイル部門では、最優秀賞に富貴苑介護課・村上介護福祉士の「活動不参加者へ音楽による活性化を試みて(ブンネ法でのスタートライン)」が、優秀賞に笑健(田園キッチ)・の鶴本パティシエの「笑顔に会えるまで」がそれぞれ選ばれ、富島理事長より表彰を受けました。

表彰がひとしきり終わりますと、再度登壇した富島理事長より、来年度30



周年を控えるみゆきの里の今後の方針と、これからの課題について説明がありました。続けて各施設長からは、それぞれの施設の23年度の抱負が語られ、最後に吉田院長の音頭で職員全員がお茶で乾杯し、記念式典は閉会となりました。

みゆきの里が今回29周年を迎えることができたのも、ご利用者やそのご家族、地域の方々、連携先の医療機関や施設の皆様方のご理解とご協力あってのことです。みゆきの里は来年度の30周年、そしてその先へ向けて、今後とも皆様にご貢献できる地域の拠点、健康長寿のまちづくりを追究してまいります。



Doctor's COLUMN ドクターズ コラム



九品寺クリニック
院長

横山 利美 先生

九品寺クリニック
〒862-0976
熊本市九品寺5丁目
15-7
TEL:096-364-1777

九品寺5丁目(白山通り・浜線交差点そば)に、平成20年2月開設しました九品寺クリニックです。当院は入院設備を備え、消化器疾患を中心に一般内科診療を行うクリニックです。当院の基本方針や特色は、

1. 地域に密着したホームドクターとして一般内科診療を基本にします。
2. 生活習慣病の診察・治療・予防にも力をいれており、生活習慣病外来・循環器内科外来などの特殊外来を設けています。
3. 皮膚科・形成外科では、日常の皮膚疾患から美容・形成外科疾患の治療(イボ・黒子・粉瘤切除、皮膚腫瘍切除など)まで、様々な年齢層や疾患に幅広く対応しています。
4. 消化器内科外来を常設しており、各種検査(胃・大腸カメラ・CT・エコー検査など)を行って、消化器疾患(胃・大腸・肝臓・胆のう・膵臓)を診断・治療します。特に肝臓疾患(B型・C型慢性肝炎、インターフェロン治療、肝臓がんなど)に専門性を発揮します。
5. IVR(低侵襲治療)手技を駆使して、肝臓がんをはじめとした各種がん治療を、専門性を持って行います。
6. マルチスライスCT装置など各種画像診断機器を備え、画像診断専門医が診断・治療を行います。
7. 成人病予防健診・生活習慣病予防健診・人間ドック・職場健診などの健診業務も行っていきます。

このように、当院では、生活習慣病を中心とした一般内科診療から、消化器疾患、循環器疾患、皮膚・形成外科疾患、放射線科業務、健診業務など、多岐に渡った診療を、各科専門医が連携して行っています。熊大病院・日赤病院・済生会病院・中央病院や、近隣の専門病院・介護保険施設などとも連携をとりながら、地域のかかりつけ医として診療を行っています。どうぞよろしくお願致します。

特集

和楽

WAKARU

ウェルネス
スクエア

って

こんなところ!

Vol.14



ウェルネススクエア和楽の今後の予定

トレーニング室

- 特定保健指導
- 介護予防事業
- ウォークラリー(5月:立田自然公園)
- 「出前講座」(社会福祉協議会・老人会等)
- 世代間交流事業(伝承遊び等) など



ウォークラリーの様子



健康運動指導士による
「出前講座」

田園キッチン

- 田園キッチン料理講座(5月)
- 「食事バランス教室」
- 「食に関するオープン講座」(於:田園キッチン)
- 「料理教室」(於:幸田公民館)
- 「市民講座」
- 「出前講座」(社会福祉協議会・老人会等) など



田園キッチンの料理講座



幸田公民館での
「からだにやさしい野菜スイーツ作り」

みゆきの里 健康と食のまつり



恒例となりましたみゆきの里の健康と食のまつりが、今年も6月4日(土)に開催されます。昨年はウェルネススクエア和楽駐車場を「メイン会場」及び「食の会場」として大解放。「メイン会場」では「田園WA-RAKU健康ウォーキング大会」や熊本消防音楽隊の演奏、健康トークショー等数々の演目が披露されました。

一方「食の会場」でも、「アジアの健康食フェア」として国際色豊かな料理のお店が並び、熊本農業高校の生徒さんによる野菜の販売や、その野菜を使用した田園キッチンの天井販売、BIO SALUTEの「走る豚のサルシッチャ」とポロネーゼの出店など、盛りだくさんの内容でした。

和楽の建物内では「健康会場」として、2階のトレーニング室を無料開放。他にも健康チェック・健康相談・栄養相談・歯科相談など、ご来場の皆様の健康についてチェックやアドバイスを実施させていただきました。

当日の盛況ぶりは、KAB(熊本朝日放送)の番組「サタブラ」内で生放送されましたので、ご覧になった方も多いのではないのでしょうか。

今年度の健康と食のまつりも、昨年に負けない様々な催しで、ご来



場いただく皆さんに楽しんでいただけるよう、スタッフ一同今から張り切って準備しています。内容に関する詳細は、今後みゆきの里のホームページや各種ご案内で順次ご紹介していきますので、皆様の沢山の来場をお待ちしております。

■ 今後の行事予定 Event schedule

6月4日(予定) 健康と食のまつり



昨年の健康と食のまつりの様子

■ 担当医表 Charge medicine table

	月	火	水	木	金	土
午前	津出 長尾	吉田 江頭	山浦	川野 長尾	吉田	担当医
午後	高木	本田 長尾	高野 和田山	高野 長尾	津出 江頭	

・王研究員の漢方相談…毎週 水曜:午前 木曜:午後 金曜:午前

長尾名善院長 外科(鍼灸漢方)・健康相談を担当します。

吉田院長
津出診療部長
川野内科医長
本田医師
高野医師
高木医師
山浦医師
金場医師
内科を中心として、種々の診療を担当します。

和田山医師 整形外科を担当します。

磯貝ホスピス医長 緩和ケア病棟を担当します。

鈴木医師

江頭医師 呼吸器・アレルギー疾患・心療内科を担当します。

田川医師 歯科を担当します。

- リハビリテーションの担当医:川野、吉田、津出、高木
- 緩和ケア病棟への入院相談 月～土 8:30～17:30(随時)
相談窓口:医療連携室

■ ニュースリリース News release

みゆきの里研究発表大会 開催

平成23年2月25日、第4回目となる「みゆきの里 研究発表大会」が、ウェルネススクエア和楽3階会議室で開催されました。これはみゆきの里の職員が、それぞれの分野で行った研究成果を発表し、優秀な研究を表彰するというものです。事前に各施設で行われた一次選考を潜り抜けた、研究発表部門6作品、フリースタイル部門8作品の、計14作品が発表されました。

職員の方々の業務の都合上、大会の開催は一日の仕事を終えた午後6時からとなったのですが、皆さんご自分の施設の代表の発表を見ようと続々詰めかけられ、会場は立ち見の方が出るほどの盛況でした。壇上では、発表者の皆さんが地道にデータを収集されたり、あるいはオリジナリティあふれる発想で取り組まれた研究が次々と発表され、午後8時半の大会終了まで会場は熱気に包まれたままでした。

今回発表された作品のうち優秀だったものは、3月1日のみゆきの里創立記念式典で表彰されました。みゆきの里では、来年度以降も研究発表大会を継続する予定です。職員が互いに切磋琢磨して、より一層の研鑽を行ったり、自分達の業務のみならず、他職種の業務へも理解を深めること等につながれば、と考えています。



私たちは、地域の人々、利用者ご家族の幸せを願い、保健・医療・福祉の総合力を発揮して、健康生活のベストパートナーとなることを目指します。



医療法人博光会

御幸病院

【診療科目】

内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・漢方内科・リハビリテーション科・心療内科・アレルギー疾患内科・小児科・歯科・麻酔科(ペインクリニック) [医師:岡崎止雄]

【診療受付時間】

平日 午前8時30分～午後5時

土曜 午前8時30分～午前12時

※但し急患は何時でも受け付けます。



- 緩和ケア病棟:20床
- 一般病棟:30床
- 回復期リハビリテーション病棟:85床
- 医療療養型病棟:51床
- 併設:訪問看護ステーション「みゆきの里」

発行/医療法人博光会 御幸病院
〒861-4172 熊本市御幸笛田6-7-40
TEL.096-378-1166 FAX.096-378-1762
メールアドレスinfo@miyukinosato.or.jp
編集/株式会社 談

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.miyukinosato.or.jp/>